

お互いを気づかうやさしい街づくり 清田区福祉のまち推進センター 活動交換会

テーマ：「見守り・訪問活動への取り組みと専門機関との連携」

☆当日は、270名の方に
ご参加いただきました。



第1部 実践報告①

『地域の支え合いによる福祉活動の推進』～平岡北町内会・となりぐみ 立ち上げからの歩み～

平岡地区 平岡北町内会福祉推進委員会

委員長 横山 眞氏

平岡北町内会は、町内会加入率ほぼ100%。加入率が増加する一方で高齢化に伴う近隣の変化、日常生活維持の困難性が見られ、高齢になっても安心して暮らせる地域を目指し、半年間の準備期間を経て、平成25年4月に平岡北町内会福祉推進委員会を発足しました。

準備期間では、「助け合い・見守り活動」に必要な
 ・情報交換
 ・ネットワークの構築
 ・支援活動を支えていくのに必要な組織基盤 に重点をおき協議。



横山委員長

《見守り・声かけ・電話・訪問》

(平成25年4月以降平成26年1月22日)

項目	回数	割合
見守り	204	38.4%
声かけ	126	23.7%
電話	62	11.7%
訪問	139	26.2%
合計	531	100.0%

会員全戸を対象に行った「助け合い・見守りアンケート」では、95%を超える回答率で、そのうち5.92%にあたる26戸が見守りを希望されました。この結果をうけ、見守り活動を始めるにあたり、確かな情報を共有するとともに、見守る側の温かさやぬくもり、言い換えれば「こころ」を届けることを福祉活動の中で大切な柱としてすすめることを確認しました。

